

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	2157	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 計画的な生活道路の整備	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・道路課						
	③事業主体	個別事業 土谷津地区の道路整備	④対象地区	■我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	平成31年度 ~		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.7人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	21,978千円 (うち人件費 6,230千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭い道路の幅や路切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。			事業目的	土谷津地区の円滑な通行を図るため、市街地に通じる道路整備を行い、安全な通行を確保する。							
(3) 事業内容	内容	土谷津地区の円滑な通行を図り、安全な通行を図るための道路整備を行う			当該年度執行計画	整備道路の雨水排水の流末整備として雨水管布設工事を行っていく。税務署協議を行う。							
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	%	想定値	100			
当該年度	整備道路の雨水排水の流末整備として雨水管布設工事を行っていく。税務署協議を行う。	直接	整備進捗率	%	0	100							
令和4年度	用地の取得及び、道路整備工事を行う。	直接	整備進捗率	%		100							
令和5年度	道路整備工事を行う。	直接	整備進捗率	%		100							
(7) 事業実施上の課題と対応	道路整備には用地の確保が必要のため、用地買収等、関係者の理解が必要である。また、柏市と行政界で接している区間については、柏市と協議をしながら整備を進める。	代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		*	用地測量業務委託	12,947	*	道路用地取得用印紙代	13	*	道路用地取得用印紙代	12	*	道路拡幅整備工事	45,000
		*	物件調査業務委託	2,145	*	不動産登記手数料	6,063	*	不動産登記手数料	5,000			
		*	不動産鑑定	5,357	*	物件移転補償費	2,500	*	物件移転補償費	1,000			
		*	(R1線)道路改良事業調査・設計委託	8,943	*	雨水管整備工事	7,172	*	雨水管整備工事	45,000			
					*	(債務負担3年~4年)		*	(債務負担3年~4年)				
					*	用地取得費	0	*	用地取得費	15,279			
		予算(決算)額	合計	29,392	合計	15,748	合計	66,291	合計	45,000			
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 55%	33,153	補助率 55%	24,750		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
	起債	充当率 90%	6,400	充当率 90%	8,700	充当率 90%	25,300	充当率 90%	12,100				
	一般財源		22,992		7,048		7,838		8,150				
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0				
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.42		0.7		0.42		0.42				
	正職員人件費		3,654		6,230		3,738		3,738				
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
	臨時職員賃金額		0		0		0		0				
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		33,046		21,978		70,029		48,738				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			330.46千円/%		219.78千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	地区内の道路の多くは幅員が狭く、車両のすれ違いが困難な状態であるため、拡幅整備が必要となっている。また、地区内への緊急車両の進入路確保について、地元から強い要望が出されている。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>							
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について	
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>			
	21,978	11,068	<削減の内容>		<超過理由等>					
事業費削減率(%)		33.49								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	0.46		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				
			%	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費					

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------